

【第3章】 十大主星

											【目上の場所】											【初年期】																			
— — — — —										+	— — — — —										+	— — — — —																			
【家庭の場所】											【自分の場所】											【友人の場所】																			
— — — — —										+	— — — — —										+	— — — — —																			
【晩年期】											【部下の場所】											【中年期】																			

◆貫索星【+木星】◆

陽の守り。頑固。単独。独立。兄弟。組織の要。
頑固で自立心、自我心を保とうとする。独立思考。自立思考。

物事の考え方が、一つの物事に対し、じっくり時間をかけて、ゆっくり突き進めて考えます。ちょっと要領が悪いですが一度きめたことは、めったに変えません。お酒が強く、男性が、下心で貫索星の女性を酒で酔わそうとしても、男性の方が先に酔ってしまいます。家庭に入ると、延々と家庭を守ろうとする気持ちになります。ご主人が不安定な仕事であると、ご本人も意固地になったりしてしまうところがあります。現状維持で安定思考ですから、サラリーマンの人を夫の対象として考えるとよいでしょう。

職場においては、同僚に対してライバル心を自然と意識してしまう星です。でも、良き友達とも縁がある星です。この星があったら、友達を作りやすいので、相談相手を求めたり、相談相手になったりする中で、良き友人を得ることが出来る星です。

【自分の場所】

中心の胸の位置にあると、自分をしっかり見据えた考え方をします。ですから相手のペースになっても自分を見失わない意識が心の奥にあります。他の場所に竜高星【+水星】か、玉堂星【-水星】があると、合理的で理性的判断をし、落ち着いた雰囲気の人柄となります。貫索星【+木星】の星が3つあると、人との対応が不器用になります。

【目上の場所】